

Cisco Webex App および Webex Messaging

本プライバシーデータシートでは、Cisco Webex における個人データ（個人を識別できる情報）の処理について説明します。

Cisco Webex は、シスコが提供するクラウドベースのコラボレーション ソリューションです。企業または個人がライセンスを取得すると、認可されたユーザーがサービスを使用できるようになります。

シスコは、本プライバシーデータシートに従って Cisco Webex の個人データを処理します。データコントローラとデータプロセッサを区別する法域では、お客様との関係を管理するために処理される個人データについては、シスコはデータコントローラとなります。一方、Cisco Webex が機能を提供するために処理する個人データについては、シスコがデータプロセッサとなります。

注：本プライバシーデータシートは、[シスコ オンライン プライバシー ステートメント](#)を補足するものです。

Note: 本文書は「[Cisco Webex App and Webex Messaging Privacy Data Sheet](#)」の参考和訳です。原文（英語）と差異がある場合には、原文の内容が優先します。

1. 概要

Cisco Webex App および Messaging（以下「本サービス」または「Webex」）は、シスコが、本サービスを購入した企業または個人（以下「顧客」または「お客様」）に提供するクラウドベースのサービスで、許可されたユーザー（以下「ユーザー」）が使用できます。Cisco Webex は、完結したコラボレーションスイートを提供するサービスです。チームは同じ場所においても、離れていても、会議前、会議中、会議後における一連の継続的なワークストリームにより、作成、会議、メッセージング、通話、共有を行うことができます。

本サービスはユーザー間のコラボレーションを可能にするため、利用するにあたり、お客様に個人データの提供を求める場合があります。

Cisco Webex の詳細については、Cisco Webex [ホームページ](#)を参照してください。

2. 個人データの処理

お客様がユーザーであり、お客様の雇用者が本サービスを購入した顧客である場合、雇用者は「データコントローラ」の役割を果たします。本プライバシーデータシートに記載されているすべての情報には、サービスに関連した情報の保持、モニタリング、削除およびエクスポートに関する雇用者のポリシーが適用されます。これには、ユーザーが生成した情報の暗号化および復号に使用されるキーへのアクセス権が含まれる場合があります。

個人的な使用のために個別に本サービスに登録している場合、お客様が本サービスの使用中に共有するデータにお客様の雇用者のポリシーは適用されません。ただし、お客様が雇用者によって発行された従業員用電子メールアドレスを使用して登録しており、お客様の雇用者が後から本サービスを購入した場合は、アカウントに関連付けられた電子メールアドレスを個人用の電子メールアドレスに更新するように要求される場合があります。シスコでは、個人的な使用の場合は個人用の電子メールアドレスを使用して本サービスにアクセスすることを推奨しています。電子メールアドレスを変更するには、[こちらの手順](#)に従ってください。

ユーザーは、Cisco Webex App を使用して、他の企業のユーザーとやり取りできます。お客様が他の企業のユーザーによって作成された、または他の企業のユーザーを含むスペースに投稿する場合、保持、モニタリング、エクスポートに関するそれらの企業のポリシーがデータに適用される場合があります（プライバシーデータシートの該当セクションを参照）。

本プライバシーデータシートでは、本サービスと、本サービスに含まれるテクニカル サポート アシスタンスに関する情報を扱っています。Cisco Webex で会議を開始すると、Cisco Webex Meetings の機能が使用されます。そのため、録画が収集および処理される方法の説明は、Cisco Webex Meetings のプライバシーデータシート（[Cisco Trust Center](#) で利用可能）をご覧ください。

以下の表には、Cisco Webex がサービスを提供するために処理する個人データと、その個人データを処理する目的を記載しています。

Cisco Webex App は次のことを行いません。

- 自動化された手段のみをベースとする、データ情報カテゴリの権利に影響を与える法的またはその他の重大な影響をもたらす意思決定。
- お客様の個人データの販売。
- シスコのプラットフォームでの広告配信。
- 広告目的での使用状況やコンテンツのトラッキング。
- Webex App のお客様のスペース内にあるコンテンツのモニタリングや干渉。

表 1 Cisco Webex

個人データのカテゴリ	個人データの種類	処理の目的
ユーザー情報	<ul style="list-style-type: none">• アクティベーションコード• 表示名• 電子メールアドレス• 名前• プロファイル画像• パスワード• 会社名• 請求先担当者名• 組織 ID• 汎用一意識別子 (UUID)• お客様の組織のディレクトリに含まれるユーザー情報（同期されている場合）	シスコは、次の目的でユーザー情報を使用します。 <ul style="list-style-type: none">• お客様の Cisco Webex への登録• 他のユーザーへのお客様のアバターの表示• 機能と更新の通知• 本サービスの使用方法の把握• 顧客アカウントとサービスの管理• サービスおよび他のシスコ製品やサービスの改善• リモートアクセスサポートの提供• アカウントへのアクセスの認証および許可
ホストおよび使用状況情報	<ul style="list-style-type: none">• デバイス名• 国コード• IP アドレス• ユーザーエージェント識別子• オペレーティングシステムの種類およびバージョン• クライアントバージョン• ネットワークバス上の IP アドレス• MACアドレス• タイムゾーン• ドメイン名• アクティビティログ	当社は、ホストおよび使用状況情報を以下の目的で利用します。 <ul style="list-style-type: none">• 本サービスの使用方法の把握• 技術的問題の診断• 本サービスの技術的なパフォーマンスを改善するための、集約された形による分析および統計分析の実施• お客様のサポート要求への対応

<p>ユーザーにより生成される情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> • スペースのアクティビティ (日付、時刻、関係者、アクティビティ) • メッセージ (コンテンツ、送信者、受信者、日付、時刻、開封確認メッセージ) • 共有コンテンツ (ファイル、ファイル名、サイズ、タイプ) • ホワイトボードコンテンツ • 会議および通話情報 (役職、招待状、参加者、リンク、日付、時刻、継続時間、品質評価)* • 録画* • 会議の録画の文字変換 (オプション、お客様が有効にした場合のみ適用可能) • プレゼンス (ユーザーのステータス) • 管理者が生成した情報 (コンタクトサービスの連絡先リストなど) <p>* Cisco Webex で会議を開始すると、Cisco Webex Meetings [英語] の機能が使用されます。</p>	<p>当社は、ユーザー生成情報を以下の目的で利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本サービスの提供 <p>メッセージメタデータ (送信者、日付、頻度など) を、次の目的で利用する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スペース、メッセージ、その他のユーザーとのやり取りのタグ付け、ソート、整理 • コラボレーションインサイト機能 (オプション)
<p>収集される情報オプション機能に関連して機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Cookie、ローカルストレージ、その他のブラウザのストレージテクノロジーによって収集される情報 	<ul style="list-style-type: none"> • お客様が自身の Web ブラウザで本サービスを使用する場合、当社は Cookie、ローカルストレージ、およびその他のブラウザのストレージテクノロジーを使用して、お客様が本サービスからログアウトするまでログイン状態を維持できるようにするとともに、本サービスのパフォーマンスを向上させます。これらのテクノロジーにより、ユーザー情報、ホストおよび/または使用状況情報が保存される場合があります。Cookie は常に、トランスポート暗号化を使用して送信されます。
<p>予定表と連絡先情報 (オプション)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 予定表と連絡先情報 	<p>お客様の管理者またはエンドユーザーが本サービスの利用にあたり予定表と連絡先情報を統合する場合、サインアップ時に、本サービスのモバイルアプリケーションで予定表および/または連絡先を共有するかどうかを選択できます。この予定表と連絡先情報は、ローカルのアプリケーションからのみアクセスされ、以下を行うまでシスコとは共有されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • お客様が、本サービスを使用して自身のモバイルデバイスの連絡先リストから連絡先に連絡する。この場合、当社は該当のユーザーに関する情報のみを収集します。本サービスのモバイルアプリケーションでは、お客様がより簡単に連絡先に連絡できるようにするために、こうした情報を使用します。 • お客様が、本サービスを使用して予定表のイベントからスペースを作成する。この場合、当社は日付、時刻、継続時間、および会議の参加者を含む、会議の招待状情報を収集します。

<p>タブ機能情報 (オプトアウト可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ブラウザの Cookie (ユーザーのデバイスでローカルに保持) • URL ショートカット (ユーザーがチームアプリケーションに保存した場合のみ) • アクティビティログ (URL ショートカットの追加、機能の使用など) 	<ul style="list-style-type: none"> • 本サービスの提供 • 本サービスの使用方法の把握 • 技術的問題の診断 • 本サービスの技術的なパフォーマンスを改善するための、集約された形による分析および統計分析の実施 • お客様のサポート要求への対応
---------------------------------	---	--

テクニカル サポート アシスタンス

お客様が問題の診断および解決のために Cisco Technical Assistance Center (TAC) に連絡すると、Cisco TAC は本サービスから個人データを受信して、処理する場合があります。[Cisco TAC のサービス提供プライバシーデータシート](#)には、シスコによる個人データの処理について記載されています。

Control Hub と Webex Analytics のプラットフォーム

Cisco Webex Control Hub では、使用状況の傾向および役立つ情報が提供されます。これを戦略の参考にして、複数チームでの導入を促進および最適化できます。Webex Analytics プラットフォームは、ホストおよび使用状況に関する情報を利用して、高度な分析機能とレポートを提供します。

表 2 Cisco Webex Calling

個人データのカテゴリ	個人データの種類	処理の目的
<p>ユーザー情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> • SIP 識別子 • 電話番号 • ディレクトリ内線 • 直通電話 • ボイスメールボックス番号 • ボイスメールの PIN • デバイス アクティベーションコード • 電子メールアドレス • 名前 • プロファイル画像 • パスワード 	<p>シスコは、次の目的でユーザー情報を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • お客様の Cisco Webex Calling (旧称 Cisco Spark Call) への登録 • 発信者 ID の表示 • 機能と更新の通知 • 本サービスの使用方法の把握 • シスコ マーケティング コミュニケーションの送信 • サービスおよび他のシスコ製品やサービスの改善 • 組織内でディレクトリサービスを有効化 • リモートアクセスサポートの提供 • アカウントへのアクセスの認証および許可 • ユーザーや場所にコールをルーティング • 内部および外部のダイヤリングを許可 • お客様の IP フォンの有効化を許可 • ボイスメールへのアクセス • お客様のサポート要求への対応
<p>ホストおよび使用状況情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> • デバイス名 • 位置情報 • IP アドレス • モバイルタイプ • MACアドレス • タイムゾーン • 汎用一意識別子 • ドメイン名 • アクティビティログ 	<p>当社は、ホストおよび使用状況情報を以下の目的で利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本サービスの使用方法の把握 • 技術的問題の診断 • 本サービスの技術的なパフォーマンスを改善するための、集約された形による分析および統計分析の実施 • お客様のサポート要求への対応

<p>ユーザーにより生成される情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> 録音・録画 トランスクリプト ボイスメール 	<p>当社は、ユーザー生成情報を以下の目的で利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 異なる場所のユーザーによるコラボレーションを可能にするサービスの提供 カスタマイズされた保留音の提供 ボイスメールおよびボイスメール音声のテキスト変換サービスの提供 <p>注：通話の参加者間で音声およびビデオ通話のコンテンツと画面共有コンテンツをルーティングしますが、コンテンツを保持したり保存したりすることはありません。</p>
------------------------------	---	--

表 3 Cisco Webex App Hub (API)

個人データのカテゴリ	個人データの種類	処理の目的
<p>ユーザー情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> アクティベーションコード 表示名 電子メールアドレス 名前 パスワード 会社名 請求先担当者名 組織 ID PIN SIP 識別子 電話番号 ディレクトリ内線 ボイスメールボックス番号 	<p>シスコは、次の目的でユーザー情報を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Cisco Webex App Hub へのアクセスの認証および承認 お客様への機能と更新の通知 本サービスの使用方法の把握 リモートアクセスサポートの提供 Cisco Webex App Hub を使用してサードパーティの統合またはボットをスペースに追加する場合、サードパーティが、サードパーティのサービスまたはアプリケーションアカウントに関するコンテンツと情報を当社と共有する場合があります。当社は、かかるサードパーティサービスまたはアプリケーションでお客様が使用するパスワードを受領、あるいは保存しません。ただし、それらに関連する認証トークンについては、当社で保存します。
<p>ホストおよび使用状況情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> デバイス名 位置情報 IP アドレス モバイルタイプ MACアドレス タイムゾーン 汎用一意識別子 ドメイン名 アクティビティログ 	<p>当社は、ホストおよび使用状況情報を以下の目的で利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本サービスの提供 技術的問題の診断 本サービスの技術的なパフォーマンスを改善するための、集約された形による分析および統計分析の実施 お客様のサポート要求への対応

3. データセンターの場所

シスコは、自社のデータセンターとサードパーティのクラウド ホスティング プロバイダーを活用して、本サービスをグローバルに提供します。これらのデータセンターは、現在以下の国に所在しています（データセンターの場所は随時変更される可能性があります。変更があった場合、本プライバシーデータシートは更新されます）。以下に示すデータセンターは、会議やコールと連動して本サービスが使用される場所で使用される可能性があります。Webex Meetings または Webex Calling のプライバシーデータシートについては、[Cisco Trust Center \[英語\]](#) を参照してください。

データセンターの場所	メディアデータセンターのロケーション
ダラス (米国テキサス州)	ダラス (米国テキサス州)
サンノゼ (米国カリフォルニア州)	サンノゼ (米国カリフォルニア州)
アッシュバーン (米国バージニア州)	アッシュバーン (米国バージニア州)
トロント (カナダ)	アムステルダム (オランダ)
アムステルダム (オランダ)	フランクフルト (ドイツ)
バンガロール (インド)	ロンドン (英国)
ロンドン (英国)	サンパウロ (ブラジル)
シンガポール (シンガポール)	シンガポール (シンガポール)
東京 (日本)	シドニー (オーストラリア)
シドニー (オーストラリア)	東京 (日本)
ニューヨーク (米国)	ポートランド (米国オレゴン州)
フランクフルト (ドイツ)	サンフランシスコ (米国カリフォルニア州)

メディアデータセンターは、リアルタイム メディア ストリーム トラフィックが（保持ではなく）処理されるインフラストラクチャを表します。Cisco Webex App ボットを使用する場合、ボットと共有される情報は米国で処理または保存される場合があります。

4. データの越境移転メカニズム

シスコは、複数の法域にまたがる合法的なデータの使用を可能にするための移転メカニズムに投資しています。

- [拘束的企業準則（管理者）](#) [英語]
- [APEC 域内の個人データ越境移転ルール](#) [英語]
- [APEC 個人データ処理者認定](#) [英語]
- [EU 標準契約条項](#) [英語]

5. アクセス制御

次の表で説明するように、お客様とシスコは Webex プラットフォームに保存される個人データにアクセスできません。グループスペースでは、スペースを作成した組織の管理者はグループスペースに投稿されたすべての情報をモニターできます。一方で、スペースの参加者の組織の管理者がモニターできるのは、自社のユーザーが投稿したメッセージとファイルのみです。1 on 1 スペースでは、両方の組織の管理者が、1 on 1 スペースに投稿されたすべての情報をモニターできます。グループスペースおよび 1 on 1 スペースの参加者は、スペースに投稿されたすべての情報にアクセスできます。

次の表は、Cisco Webex がサービスを提供するために利用する個人データ、当該データへのアクセス権者、データを処理する目的を一覧にしたものです。

個人データのカテゴリ	アクセス権者	アクセスする目的
ユーザー情報	お客様 (Webex Control Hub 経由)	お客様の個人データポリシーに従った処理。
	シスコ	シスコのデータアクセスとセキュリティ管理プロセスに従った本サービスのサポート
ホストおよび使用状況情報	お客様 (Webex Control Hub 経由)	お客様の個人データポリシーに従った処理。
	シスコ	Cisco Webex サポートおよび開発チームによる、本サービスのサポートおよび改善。
ユーザーにより生成される情報 (以下に記載するトランスクリプトおよび録画を除く)	お客様 (Webex Control Hub 経由)	お客様の個人データポリシーに従った処理。
	シスコ	シスコが本サービスを提供している間、お客様によってシスコと共有される場合を除いて、シスコは本データに対するアクセスおよびモニタリングをせず、アクセスする場合は必ずシスコのデータアクセスおよびセキュリティ管理プロセスに従います。さらに、ユーザーが自らホストするスペースにシスコを招待する場合、またはシスコが所有するスペースに参加する場合、ユーザーは、シスコがセキュリティプロセスの一環として、アップロードされたファイルをスキャンする (ただし、保持はしない) ことを認識する必要があります。
録画およびトランスクリプト	<ul style="list-style-type: none"> • その他のお客様 (ユーザーが他のお客様と共有する場合) • ボット (ユーザーが自分のスペースにボットを追加し、直接ボットと通信する場合) 	ユーザーが他の企業のユーザーを含むスペースにユーザー生成情報を投稿する場合、これらのユーザーとその管理者は、投稿されたデータにアクセスできます。ユーザーはスペースの他の参加者 (ボットを含む) を確認でき、監視されていないスペースのすべてのユーザーと監視スペースの監視人は、いつでも他のユーザーまたはボットを削除できます。
	マイ Webex Meetings ページを介したユーザー	ユーザーの希望に応じた会議録画の変更、管理、および削除。
	本サービスで提供される API を使用する顧客、またはサイト管理者ページを介したお客様	お客様の個人データポリシーに従った変更、管理、および削除。
	シスコ	シスコが本サービスを提供している間、お客様によってシスコと共有される場合を除いて、シスコは本データに対するアクセスおよびモニタリングをせず、アクセスする場合は必ずシスコデータアクセスおよびセキュリティ管理プロセスに従います。
他のお客様やユーザー (ミーティング中に共有した場合)	ミーティング中にお客様が共有することを選択したコンテンツは、どこに配置されていても、ミーティング内でユーザーがアクセスできます。Webex Meetings から情報を削除した後でも、他のユーザーと共有した範囲内において、コンテンツのコピーが他の場所で閲覧可能な状態になっている場合があります。	
収集される情報オプション 機能に関連して機能	シスコ	シスコが本サービスを提供している間、お客様によってシスコと共有される場合を除いて、シスコは本データに対するアクセスおよびモニタリングをせず、アクセスする場合はシスコデータアクセスおよびセキュリティ管理プロセスに従い、本サービスのサポートおよび改善のために行います。

予定表と連絡先情報 (オプション)	ユーザー	エンドユーザーは、Webex App の予定表と連絡先情報を共有することを決定できます。
	シスコ	<p>予定表と連絡先情報は、お客様のモバイルデバイス上のローカルのアプリケーションからのみアクセスされ、以下を行うまでシスコとは共有されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様が、本サービスを使用して自身のモバイルデバイスの連絡先リストから連絡先に連絡する。この場合、当社は該当のユーザーに関する情報のみを収集します。本サービスのモバイルアプリケーションでは、お客様がより簡単に連絡先に連絡できるようにするために、こうした情報を使用します。 お客様が、本サービスを使用して予定表のイベントからスペースを作成する。この場合、当社は日付、時刻、継続時間、および会議の参加者を含む、会議の招待状情報を収集します。
タブ機能情報 (お客様はオプトアウト可能)	シスコ	お客様がオプトアウトしない場合、シスコによるアクセスは、シスコのデータアクセスおよびセキュリティ管理プロセスに従った本サービスのサポートおよび改善の目的に限定されます。

6. データポータビリティ

Cisco Webex では、お客様は本サービスによって提供される API を使用して、最大 90 日間のユーザー生成情報をエクスポートできます (以下で説明する録画を除く)。さらに、Pro Pack for Cisco Webex Control Hub を購入したお客様は、本サービスに付属する API を使用して、お客様が設定した任意の期間のユーザー生成情報を自社のポリシーに従ってエクスポートできます。本サービスを終了したお客様および無料 Webex アカウントを持つユーザーは、[プライバシー リクエスト フォーム](#) [英語] を使用するか、TAC サポートリクエストを開くことで、ユーザー生成情報のエクスポートを要求できます。雇用者が購入した Cisco Webex を使用しているユーザーによって投稿されたユーザー生成情報は、雇用者 (シスコの顧客) のデータとして扱われます。したがって、顧客の会社のポリシーが適用されます。ユーザーがユーザー生成情報をエクスポートする場合、そのユーザーは顧客の管理者か、雇用者の中で顧客に属するデータの処分に関する決定権を持つ人物に相談する必要があります。グループスペースでは、スペースを作成した組織の管理者はグループスペースに投稿されたすべての情報をエクスポートできます。一方で、スペースの参加者の組織の管理者は、自社のユーザーが投稿したメッセージとファイルのみをエクスポートできます。1 on 1 スペースでは、両方の組織の管理者が、1 on 1 スペースに投稿されたすべての情報をエクスポートできます。

お客様が Webex プラットフォームから個人データをエクスポートするには、複数の方法があります。お客様は、Webex Control Hub を介して一部の個人データのカテゴリを (CSV ファイルとして) エクスポートでき、API を使用してすべてのタイプの個人データ (認証トークンを除く) をエクスポートできます。

Cisco Webex で会議を開始すると、Cisco Webex Meetings の機能が使用されます。Cisco Webex Meetings では、お客様は、Webex Meetings プラットフォームに保存されたすべての会議録画をエクスポートできます。お客様の管理者は、Webex Meetings サービスで提供される API を使用して、または Webex Meetings サイト管理者ページからエクスポートできます。個人ユーザーは、マイ Webex Meetings ページからエクスポートできます。標準的な mp4 フォーマットで会議を録画することができます。

7. データの削除と保持

Cisco Webex では、ユーザーによって共有されたメッセージとファイルを永続的に保持できます。したがって、お客様のユーザー生成情報は、お客様のサブスクリプションが有効な間、Webex プラットフォームに保存されます（データストレージ制限の対象となります）。プラットフォームに保存されるデータの量を最小化したいお客様、または保持期間を変更したいお客様に向けて、Pro Pack for Cisco Webex Control Hub には保持設定機能が含まれています。これにより、お客様の企業のデータ保持および削除ポリシーに従って自動的にユーザー生成情報を削除できます。

お客様のサブスクリプションが終了または期限切れになると、その個人データは次の表に示すように保持されます。シスコが特定のカテゴリのデータを保持する場合、保持の理由および期間は次の表のとおりです。

グループスペースでは、スペースを作成した組織の保持ポリシーが適用されます。また、その組織の管理者はグループスペースに投稿されたすべての情報を削除できます。1 on 1 スペースでは、各組織の管理者は、自社のユーザーによって投稿されたメッセージとファイルのみを自社の保持ポリシーに従って削除できます。

次の表には、Cisco Webex が使用する個人データ、個人データを保持する必要がある期間、保持する理由を記載しています。

個人データの種類	保持期間	保持の理由
ユーザー情報	<p>有効なサブスクリプション</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー情報は、お客様が有効なサブスクリプション（有料または無料）を維持している限り維持されます。 <p>終了したサービス：</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様は、TAC でチケットを開くことで削除を要求できます。 サービスが終了すると削除されます。 名前と UUID は、サービス終了から 7 年間保持されます。* 	<p>* 名前と UUID は、シスコのビジネス記録の一部として 7 年間保持され、シスコの財務および監査要件に準拠するために管理されます。サービスのプロビジョニング中にシスコに提供される課金アカウント情報も、この保持期間の対象となります。</p>
ホストおよび使用状況情報	3 年	<p>本サービスの使用および提供中に作成された計測およびロギングシステムが生成する情報は、シスコのビジネス記録の一部として保持されます。保持期間後は、分析およびパフォーマンスの統計的測定のために使用される使用状況情報は保持されますが、仮名化、集約、または匿名化が行われます。</p>
ユーザー生成情報 (以下に記載する録画およびトランスクリプトを除く)	<p>有効なサブスクリプション</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー生成情報は、お客様が有効なサブスクリプションを維持している限り保持されます。 お客様が Cisco Webex Control Hub の Pro Pack を購入した場合、特定の保持期間をカスタマイズできます。 	<p>本サービスは、お客様がこの情報を使用して長期間にわたって他のユーザーとコラボレーションできるように構築されているため、ユーザー生成情報は永続的です。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> シスコは、無料のアカウントユーザーに最大 6 カ月の無料ストレージを提供します。ユーザーが生成したコンテンツは 6 カ月後に削除されます。 <p>終了したサービス：</p> <ul style="list-style-type: none"> アカウントが無効になるか終了すると、ユーザー生成情報は削除されます。 	
<p>録画およびトランスクリプト</p>	<p>有効なサブスクリプション</p> <ul style="list-style-type: none"> Webex Meetings プラットフォームでのお客様またはユーザーの裁量による お客様が Cisco Webex Control Hub の Pro Pack を購入した場合、特定の保持期間をカスタマイズできます。 <p>終了したサービス：</p> <ul style="list-style-type: none"> Webex Meetings プラットフォームで 60 日以内に削除 	<p>Cisco Webex で会議を開始すると、Cisco Webex Meetings の機能が使用されます。 お客様またはユーザーが本データを削除した場合、会議の録画は Webex プラットフォームに保持されません。</p>
<p>収集される情報オプション機能に関連して機能</p>	<p>3 年</p>	<p>お客様が特定のオプション機能を選択した場合、そのオプション機能に関連して収集された情報は、シスコのビジネス記録の一部として保持されます。</p>
<p>予定表と連絡先情報 (オプション)</p>	<p>有効なサブスクリプション：</p> <ul style="list-style-type: none"> 予定表の情報は、お客様が有効なサブスクリプションを維持している限り保持されます。 お客様が Cisco Webex Control Hub の Pro Pack を購入した場合、特定の保持期間をカスタマイズできます。 <p>終了したサービス：</p> <ul style="list-style-type: none"> アカウントが無効になるか終了すると、予定表の情報は削除されます。 	<p>本オプション機能は、お客様がこの情報を使用およびアクセスして、長期間にわたって他のユーザーとコラボレーションできるように構築されているため、予定表の情報は永続的です。</p>
<p>タブ機能情報 (お客様はオプトアウト可能)</p>	<p>Webex App の組み込みブラウザ機能にショートカットとして保存された URL は、ユーザー管理者がショートカットを削除するか、お客様のアカウントが終了するまで保持されます。</p>	<p>URL ショートカットは、本サービスの提供のために保持されます。</p>

8. 個人データのセキュリティ

シスコは、個人データを偶発的な紛失や不正アクセス、不正使用、改ざん、漏洩から保護するために設計された、適切な技術的、組織的措置を講じています。

Cisco Webex は ISO 27001:2013 の認定を受けており、これらの規格に基づき、不正アクセスの使用または法律によって要求される情報開示からお客様の個人データを保護するために、技術的および組織的なセキュリティ措置を採用しています。当社の暗号化アーキテクチャに関する追加情報は、下の表および次項以降のとおりです。

個人データのカテゴリ	セキュリティ制御と対策
ユーザー情報 (後述するパスワードは除きます)	移送中および保管中に暗号化します
パスワード	移送中および保管中に暗号化します
ホストおよび使用状況情報	移送中および保管中に暗号化します
ユーザー生成情報 (以下に記載する録画およびトランスクリプトを除く)	エンドツーエンドで暗号化し (以下で説明する場合を除く)、シスコがお客様に代わってキーを保持します。ただし、お客様が Pro Pack for Cisco Webex Control Hub を購入し、ハイブリッド データ セキュリティを導入している場合は、お客様がキーを保持できます。
録画およびトランスクリプト	Cisco Webex で会議を開始すると、Cisco Webex Meetings の機能が使用されます。2018 年 5 月以降に作成された録画およびトランスクリプトは、デフォルトで転送中および保管中に暗号化されます。
オプションの機能に関する収集情報	移送中および保管中に暗号化します
予定表と連絡先情報 (オプション)	移送中および保管中に暗号化します
タブ機能情報 (お客様はオプトアウト可能)	移送中および保管中に暗号化します

本サービスでは、転送中および保管時のデータの保護について、データの種類別にそれぞれ別の暗号化方式を使用します。このセクションでは、「お客様」または「お客様の」はユーザーを指します。

Cisco Webex は、やり取りする関係者間でユーザーコンテンツ (メッセージ、ファイル、ボード、カレンダーイベント) をエンドツーエンドで暗号化します。エンドツーエンドキーには、お客様が承認した関係者と処理中のエンドポイント (トランスコーダ、DLP エンジン、ウイルススキャナなど) のみがアクセスできます。エンドツーエンドの暗号化キーを完全に制御したいお客様は、データセンター内にハイブリッド データ セキュリティ (HDS) サーバーを導入することもできます。お客様がロケーション情報を共有することを選択した場合、それらの情報も暗号化されます。メッセージは、他のユーザーが受け取るまで暗号化された状態になっており、それらのユーザーのデバイスで復号されます。各ホワイトボードの内容、ホワイトボードの背景画像、ホワイトボードのスナップショットにも同じプロセスが使用されます (以下に記載するメディア暗号化に関する 1 つの例外を除く)。以下の場合を除き、お客様が共有するコンテンツにも同じプロセスが使用されます。プッシュ通知もエンドツーエンドで暗号化されます。

ユーザー生成情報が復号化される状況がいくつかあります。

- 特定の種類のファイル (PDF、Microsoft Word ドキュメント、PowerPoint プレゼンテーション) の場合、スペースでの表示用に「トランスコード」するため、ファイルを復号します。たとえば、お客様がスペースにスライドプレゼンテーションをアップロードすると、まずお客様のデバイスで暗号化が行われます。サーバーでプレゼンテーションを受信すると、それを復号して、各スライドの個々のサムネイル画像を生成します。その後当社は、サムネイルとプレゼンテーションを暗号化して、スペースの他のユーザーに送信します。復号されたファイル画像は保存されません。これらのオブジェクトの暗号化された形式のみが保存されます。
- 当社のエンドツーエンドの暗号化スキームと統合されていないボットおよび統合の場合、当社はそのボットまたは復号化をサポートするサードパーティに送信する前に、ボットと統合に関連するメッセージとコンテンツを復号します。復号された画像とコンテンツは保存されません。
- メッセージおよびコンテンツは、お客様の雇用者、またはこのサービスを通じてお客様が通信する相手の雇用者が復号できます。シスコの従業員と通信する場合、シスコがこれらのメッセージを復号できます。

お客様がコール中に送信する音声、ビデオ、画面共有データ、およびボイスメールの保護には、メディア暗号化が使用されます。お客様がコールを行うと、お客様のデバイスから当社のサーバーに届くメディアが暗号化されます。メディアは、当社がコールを管理できるよう、当社のサーバーで復号されます。他のコールへの参加者が公衆電話網で接続されるか、暗号化をサポートしていない場合を除き、メディアは他の参加者への送信前に再度暗号化されます。SIP を使用して会議にダイヤルし、会議でホワイトボードを使用する場合、当社はエンドツーエンドで暗号化されたホワイトボードのコンテンツを複合し、トランスコーディングを実行し、メディア暗号化を使用してお客様に送信します。当社が、当社のサーバーにコールの音声、ビデオ、または画面共有データを保存することは一切ありません。ボイスメールは、お客様のデバイスから当社サーバーへの送信時に暗号化され、当社のサーバーで保存できるよう復号された後、当社サーバーへの保存時に再度暗号化されます。電子メールで送信されるボイスメールは暗号化されません。したがって、Control Hub は、電子メールではなく Webex 経由でボイスメールを送信するオプションを提供します。Fax は暗号化されません。

音声およびビデオ通話を除く、本サービスとの間のすべての接続の保護には、トランスポート暗号化 (HTTPS とも呼ばれる) が使用されます。お客様が本サービスの登録、メッセージの送信、コンテンツの共有、ホワイトボードへの書き込み、統合によるサードパーティサービスまたはアプリケーションとの接続、当社にフィードバックを提供するためのスクリーンショットの送信、あるいはその他の方法で本サービスへの接続を行う場合、当社は常にトランスポート暗号化を使用します。

9. 副処理者

本サービスの提供と改善を支援するために、サービスプロバイダー、請負業者、またはその他のサードパーティと個人データを共有する場合があります。共有データには、集約統計または個別データが含まれる場合があります。すべての情報共有はシスコのプライバシーポリシーに従って行われます。当社は、メンバーまたはユーザーがシスコに期待できるものと同等のレベルのデータ保護および情報セキュリティを提供できるサードパーティのサービスプロバイダーと契約します。当社が、メンバーまたはユーザーの情報を貸与または販売することはありません。お客様がシスコパートナーを介してサービスを購入した場合、当社は本データシートに記載された任意の、またはすべての情報をパートナーと共有する場合があります。次は、個人データにアクセスできるサードパーティのサービスプロバイダーの現在のリストです。

副処理者	個人データ	サービスの種類	データセンターの場所
Amazon Web Service	ホストおよび使用状況の情報、ユーザー生成情報	AWS クラウド インフラストラクチャは、Webex サービスのホスティングに使用されます。	ダラス (米国テキサス州) フランクフルト (ドイツ) オハイオ (米国) ポートランド (米国オレゴン州)
Rackspace	アバター画像	クラウド インフラストラクチャ Webex ユーザーのアバター画像の使用はオプションです。 * 2019 年 10 月より前に保存されたデータにのみ適用されます。	グローバル。既存の EU 地域のお客様のデータは、EU 地域内で保存されます。
Software AG (以前の Built.io)	Webex Teams ID (仮名)	Software AG は、Webex 内のボットの構築とホスティングに使用するクラウド インフラストラクチャを提供します。Software AG は UUID を使用してユーザーのボット要求を処理します。Webex ユーザーのボットリクエストの使用はオプションです。	米国
Snowflake	ホストと使用状況の情報 (お客様が要求)	このサービスは、お客様から明示的に要求された場合に、カスタマイズされたレポートを作成するために使用されます。	米国 (AWS) アイルランド (AWS) フランクフルト (AWS) シドニー (オーストラリア) (AWS) Azure 米国東部 Azure 西ヨーロッパ
Sparkpost Email Service	氏名、電子メールアドレス	お客様に電子メールを送信します。	グローバル

オプションのサードパーティ統合

- Cisco Webex の統合**：お客様は、サードパーティの業界トップクラスのアプリケーションを Webex ワークフローに直接組み込むことができます。このようなサードパーティ製アプリケーションには、統合を通じてお客様が共有するデータに適用される独自のプライバシーポリシーがあります。このようなサードパーティ製アプリケーションを使用するには、お客様は各統合を有効にする必要があります。詳細については、[Webex の統合サイト](#) [英語] を参照してください。暗号化されていないメッセージを、お客様が本サービスとの統合を選択したサードパーティサービスおよびアプリケーションとの間で共有することは可能ですが、お客様の許可または法律による要求なしでその他のサードパーティと共有することはできません。
- デバイスプッシュ通知**：シスコは、Apple Push Notification サービスおよび Google Firebase Cloud Messaging をそれぞれ使用してプッシュ通知を送信することで、iOS および Android デバイス上の Webex App に関するユーザー更新情報を送信する場合があります。ユーザーは、デバイスの通知設定を変更することで、いつでもこれらの通知の受信をオプトアウトできます。
- GIPHY**：Webex App から直接 GIPHY にアクセスして、アニメーション GIF を共有できます。Webex App の最新バージョンでは、GIPHY はデフォルトでユーザーインターフェイス内に表示されますが、お客様は Control Hub ポータルからいつでも GIPHY 機能をオプトアウトできます。GIPHY が使用可能で、ユーザーが GIPHY の機能を使用してメッセージをパーソナライズすることを選択した場合、GIPHY はユーザーの IP アドレスと GIF 検索条件を受け取る場合があります。詳細については、GIPHY の[利用規約](#) [英語] と [プライバシーポリシー](#) [英語] を参照してください。

10. 情報セキュリティインシデント管理

違反およびインシデントの通知プロセス

シスコのセキュリティ & トラスト部門内のデータ保護・プライバシーチームは、データインシデント対応プロセスを調整し、データ中心のインシデントへの全社的な対応を管理しています。インシデント指揮官が、シスコ プロダクト セキュリティ インシデント レスポンス チーム (PSIRT)、シスコ セキュリティ インシデント レスポンス チーム (CSIRT)、およびアドバンスド セキュリティ イニチアチブ グループ (ASIG) を含む多様なチームを活用して、シスコの対応を指示および調整します。

PSIRT は、シスコ製品およびネットワークに関連するセキュリティ脆弱性の報告受付、調査、および公表を管理します。PSIRT は、お客様、独立したセキュリティ研究者、コンサルタント、業界団体、およびその他のベンダーと協力して、シスコ製品およびネットワークのセキュリティに関する潜在的な問題を特定しています。[シスコ セキュリティセンター](#) [英語] では、セキュリティインシデントの報告プロセスを詳しく説明しています。

シスコ通知サービスに登録することで、重大度が「緊急」および「重要」のセキュリティ脆弱性に関するシスコ セキュリティ アドバイザリを含めた、重要なシスコ製品および技術に関する情報を購読し、受け取ることができます。このサービスでは、通知のタイミングおよび通知の配信方法（電子メールメッセージまたは RSS フィード）をお客様が選択できます。情報へのアクセスレベルは、購読者とシスコとの取引関係によって決定されます。製品またはセキュリティ通知に関する質問や懸念がある場合、シスコのセールス担当者にお問い合わせください。

11. 認証およびプライバシー要件の遵守

セキュリティ & トラスト部門およびシスコ法務部は、リスクおよびコンプライアンスに関する管理ならびにコンサルティングサービスを提供し、セキュリティおよび規制の遵守をシスコの製品やサービスの設計に組み込むための支援をしています。本サービスはプライバシーを念頭に置いて構築されており、EU の一般データ保護規制 (GDPR)、カリフォルニア州消費者プライバシー法 (CCPA)、カナダの個人情報保護および電子文書法 (PIPEDA)、個人の医療情報保護法 (PHIPA)、医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令 (HIPAA)、家族教育権とプライバシー法 (FERPA) を含め、グローバルなプライバシー要件に合致した方法で使用できるように設計されています。

セクション 4 に記載されているデータの越境移転メカニズムや認定に加えて、シスコは以下の認定を受けています。

- [EU-米国間のプライバシー シールド フレームワーク](#) [英語]
- [スイス-米国間のプライバシー シールド フレームワーク](#) [英語]

さらにシスコは、厳しい社内標準に従うだけでなく、情報セキュリティに対するシスコの取り組みを示すために、第三者機関による検証も受け続けています。Cisco Webex は、次の認証を受けています。

- SCOPE Europe が監視する EU クラウド行動規範
- ISO 27001、27017、27018、27701
- SOC 2 タイプ II アテステーション
- SOC 3 アテステーション
- クラウド コンピューティング コンプライアンス制御カタログ (C5)
- CSA STAR 2

お客様は、[Cisco Trust Center](#) [英語] で認定を確認できます（一部は NDA が必要です）。

12. データ主体の権利の行使

本サービスによりご自身の個人データが処理されたユーザーには、本サービスによって処理された個人データに対して、アクセス、是正、処理の中断を要求する権利があります。

シスコは、要求に対応する前に、ID（通常はシスコアカウントに関連付けられた電子メールアドレス）の確認を依頼します。要求に応じることができない場合、シスコはその原因を提示します。ユーザーの雇用主がお客様/管理者である場合は、応答を得るためにユーザーの雇用主にリダイレクトする場合があります点にご注意ください。

リクエストは、次の方法で送信できます。

- 1) シスコの[プライバシー リクエスト フォーム](#) [英語]
- 2) 次の宛先に郵送する

個人情報保護管理責任者 (CPO) Cisco Systems, Inc. 170 W. Tasman Drive San Jose, CA 95134 UNITED STATES		
Americas プライバシー責任者 Cisco Systems, Inc. 170 W. Tasman Drive San Jose, CA 95134 UNITED STATES	APJC プライバシー責任者 Cisco Systems, Inc. Bldg 80, Lvl 25, Mapletree Biz City, 80 Pasir Panjang Road, Singapore, 117372 SINGAPORE	EMEAR プライバシー責任者 Cisco Systems, Inc. Haarlerbergweg 13-19, 1101 CH Amsterdam-Zuidoost NETHERLANDS

シスコは、問い合わせとリクエストにタイムリーかつ十分に対応できるよう努めます。シスコが処理または移転した個人データに関連するプライバシーに関する懸念が未解決のままとなっている場合は、シスコの[米国を拠点とするサードパーティの紛争解決プロバイダ](#) [英語] に問い合わせることができます。または、管轄区域内のデータ保護監督機関に問い合わせることもできます。EU では、シスコはオランダを主たる拠点としています。そのため、EU における主たる監督機関は、Dutch [Autoriteit Persoonsgegevens](#) (オランダデータ保護機関) [英語] となります。

13. 一般情報

一般的な情報ならびにシスコのセキュリティおよびプライバシープログラムに関連する FAQ（よくある質問）については、[Cisco Trust Center](#) をご確認ください。

シスコのプライバシーデータシートは、毎年、または必要に応じて見直され、更新されます。最新バージョンについては、Cisco Trust Center の「[個人データのプライバシー](#)」セクションをご確認ください。